

平成 27 年度統計法施行状況審議（未諮問基幹統計の確認）の検討の流れについて

平成 28 年 10 月 11 日

基本計画部会

1. 平成 27 年度法施行状況（未諮問統計の確認）の審議においては、審議対象となる統計毎に中心となって取りまとめを行う主査委員を部会長が指名する。

<審議対象調査>

- ・賃金構造基本統計（審議時期：28 年 12 月）
- ・建築着工統計（同：28 年 12 月）

2. 検討の流れは以下の通り

- (1) 主査が中心となって確認すべきポイント（論点）をとりまとめ  
※ 確認すべきポイント（論点）の取りまとめの前に、各委員に確認すべきポイント（論点）についての意見照会を行う
- (2) 確認すべきポイント（論点）に沿って、所管府省が審議のための説明資料を作成
- (3) 基本計画部会で、確認すべきポイント（論点）を中心に審議を実施
- (4) 上記の審議を踏まえて、主査が中心となって報告書案を取りまとめ、部会で審議、決定
- (5) 報告書の取りまとめの時期は、2 月ないし 3 月